



特集

市の施策や事務事業の継続的な改善を目指す

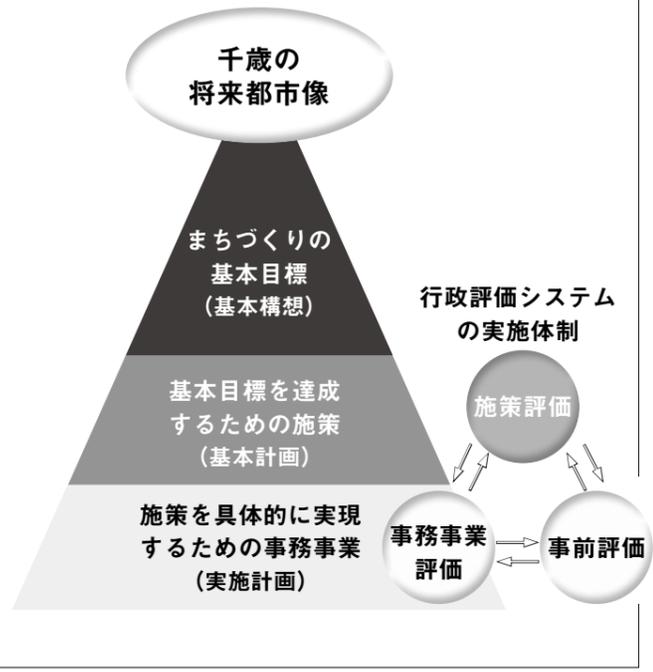
行政評価システムとはどんなもの？

市は、子育て支援や健康づくり、教育、観光、企業誘致、防災、公園や市道の整備など、さまざまな施策や事務事業を実施しており、市の人員や財源を効率的、有効的に活用するため、施策や事務事業の内容を評価し継続的な改善を進める行政評価システムを平成13年度から導入しています。今月の特集は、市の行政評価システムの概要についてお知らせします。

千歳の将来都市像は

千歳市第6期総合計画では、千歳の将来都市像を「みんなで生き生き 活力想像都市 ちとせ」としています。
市民や市民団体、事業者、行政の「みんな」で、千歳が持つ特性や資源を生かして、子どもから高齢者まで、さまざまな市民が「生き生き」と元気に活動し、新たな活力が生まれる「活力創造都市」を目指しています。

千歳市第6期総合計画の構成と行政評価システムの活用イメージ



市は、市の将来都市像やまちづくりの基本目標を定めた総合計画を策定しています。平成23年度～32年度までを期間とする「千歳市第6期総合計画」は、「あつたかみのある地域福祉のまち」や「人と地球にやさしい環境のまち」など7つの基本目標を掲げ、目標を達成するための136施策と施策を具体的に実現するために必要な事務事業で構成しています。

「千歳市第6期総合計画」における行政評価システムの効果的な活用

行政評価システムでは、「千歳市第6期総合計画」の基本目標を達成するために「施策の進捗状況はどうか」、「今後、どのような事務事業を実施するべきか」という視点で、計画の効率的な進行の管理、政策の推進に向けた施策に対応する事業構成を評価し、将来のまちづくりを見据えた政策・施策運営を推進します。

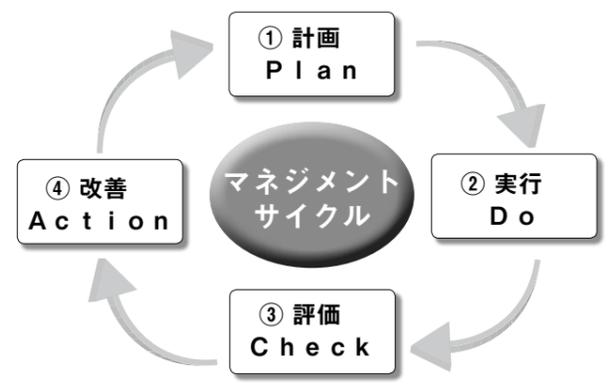
二次評価委員会とは？

副市長を座長とし、企画部・総務部の部長・次長などの職員で組織する評価委員会です。
担当課の自己評価（一次評価）に対して、全市的な視点で評価します。

行政評価とは、市が実施している施策や事務事業を評価、点検するもので、効率性・有効性などの基準や活動量・効果を示す指標を用いて「どのような成果があったか」、「目標を達成できているか」などを検証しています。
評価にあたっては、市のまちづくりの基本方向を定めた「千歳市第6期総合計画」に掲げる施策の進捗状況を把握する「施策評価」、事務事業の費用に対してどのような成果があったかを判断する「事務事業評価」、新規事業の必要性を判断する「事前評価」の3つの区分で実施しています。

「行政評価」とは？

具体的には、前年度に実施した施策や事務事業を対象に、担当課が実施結果を検証して、問題点や課題を明らかにしながら、今後の方向性について自己評価（二次評価）します。
次に、市政の統一性を確保し、総合的な推進を図る視点から、二次評価委員会を設けて、特に必要な施策や事務事業の評価を行っています。
評価結果は、今後実施する事務事業を効率的、効果的にするため活用しています。



施策や事務事業をより良いものとするため、計画 (Plan)、実行 (Do)、評価 (Check)、改善 (Action) につながるマネジメントサイクルを構築しています。

評価結果の一部をご紹介します！

平成 26 年度

施策の内容

低炭素社会形成の推進

実施している主な事業

マイカーの自粛運動やアイドリングストップなど、環境に配慮した行動の啓発を行う「温室効果ガス排出削減推進事業」



市民評価会議の評価結果

▼市民や事業者にマイカーの自粛運動やアイドリングストップを推進するなど、多くの市民とともに環境に配慮した行動を推進することが必要と考えます

担当課の対応

▼マイカーの自粛運動やアイドリングストップについて、6月の環境月間や12月の地球温暖化防止月間は、JR千歳駅前の多目的メッセージ広告塔で周知したほか、11月のエコドライブ推進月間は「広報ちとせ」で周知するなど、市民・事業者とともに温室効果ガス排出削減の推進を図っています

平成 27 年度

施策の内容

文化財の保護と保存

実施している主な事業

「キウス周堤墓群」の世界遺産登録に取り組む「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議事業」

市民評価会議の評価結果

▼発掘した出土品を観光・教育の素材として活用してはどうか、また、文化財キャラクターの「土面」がキウス周堤墓群からの出土品と間違われない配慮が必要と考えます

担当課の対応

▼出土品は展示・公開しており、今後も市民や学校などにPRします
▼文化財キャラクターの使用にあたり、千歳市文化財キャラクター「ママチくん」と併記し、ママチ遺跡出土の土面をイメージしたものと伝わるように努めます



平成 24 年度

施策の内容

学びあえる仕組みづくりの推進

実施している主な事業

県人会による特産品販売や市民団体によるステージ発表など、市内で活動する個人や団体が集まって開催するイベント「ふるさとポケット」の支援事業



市民評価会議の評価結果

▼市民協働や市民コミュニティづくりを進める上で重要な施策であり、今後、さらに拡大するべきと評価します
▼若い世代の育成や新しいアイデアを出しながら変化していくことが望ましいと考えます

担当課の対応

▼他の事業と共同開催するなど、新たな企画について運営会議や実行委員会で協議を行い、従来の慣例にとらわれない「NEWふるさとポケット」開催に向けて検討・努力します

平成 25 年度

施策の内容

広報広聴の充実

実施している主な事業

市の歴史を知ってもらい、市政への理解や興味を深めてもらうため、市の街並みや主な出来事などを撮影し、記録財産として残すとともに、DVD化した記録媒体を市民に貸し出す「伸長記録映画製作事業」

市民評価会議の評価結果

▼市の歴史を知り、郷土愛を育むために貴重な記録映像であり、市民に活用してもらうPRの工夫が必要と考えます

担当課の対応

▼記録映像は、市のホームページでの公開をはじめ、DVD版については、図書館で視聴できることや、広報広聴課で貸し出していることを「広報ちとせ」で紹介しています



これまでに市民評価会議が評価した施策

平成 24 年度（7 施策）

- ・児童福祉の充実
- ・防災対策の充実
- ・雪に強い生活環境の充実
- ・学びあえる仕組みづくりの推進
- ・教育活動の充実
- ・教育相談・指導の充実
- ・公共交通の機能の充実

平成 25 年度（8 施策）

- ・高齢者の在宅生活支援
- ・ごみ収集の充実
- ・特別支援教育の充実
- ・学習機会の充実
- ・郷土資料の公開と活用
- ・商業機能の活性化
- ・観光都市としての魅力づくり
- ・広報広聴の充実

平成 26 年度（8 施策）

- ・成人保健対策の充実
- ・低炭素社会形成の推進
- ・交通安全対策の充実
- ・市民活動の活性化とネットワーク体制の充実
- ・学校を支える組織の充実
- ・青少年の非行防止
- ・農業経営の強化
- ・参加と協働による緑化の推進

平成 27 年度（8 施策）

- ・安心して利用できる福祉サービスの仕組みづくり
- ・環境衛生の向上
- ・火災予防の推進
- ・教育機会の拡充
- ・家庭教育の充実
- ・文化財の保護と保存
- ・雇用対策の促進
- ・市民協働によるまちづくり

※平成 28 年度は、「地域基幹病院としての医療体制の充実」、「ヒメマス資源の保護・増殖」など 8 つの施策について評価する予定です。

市の積極的なPRに期待したいです！

毎年、担当課へのヒアリングを通じて、市が特色ある事業を行っていることや、結果にたどりつくまでの担当課の努力を理解することができます。市民の目線で結果の善しあしだけでなく、過程もしっかり評価しなければならないことを常に意識しています。

一方で、市は、市民に直接見えないような努力を皆さんにもっとPRすることが重要だと感じています。

PRをすることで「市がこれだけ取り組んでいるのなら、私たち市民にもできることがある」という意識が芽生え、市民協働のまちづくりを進めることにつながっていくと思います。

これまでの行政評価システムは、職員による内部評価を行ってききましたが、評価の客観性や透明性を確保し、効率的な行政運営を推進するため、平成 24 年度から市民の皆さんの視点で評価する「市民評価会議」を開始しています。

学識経験者や市民の意見を代表する委員、アドバイザーで構成する「市民評価会議」を設置し、「第 6 期総合計画」に掲げる施策を評価しています。

市民評価会議では、この 4 年間で 31 施策について、担当課のヒアリングを通じて、一次評価の妥当性や施策の今後の展開、事業内容の見直しの必要性などを評価し、結果をまとめました。

市では、評価結果の内容を確認し、今後の事務事業の見直しや改善に役立てています。



市民評価会議の様子。担当課へのヒアリングは、傍聴できます。平成 28 年度は、6 月 27、29 日、7 月 4、6 日に開催する予定です。

市民評価会議委員

はま かずほ さん
浜 一穂 さん

▼プロフィール

平成 24 年度から市民評価会議の委員を務める。社会教育事業の調査や研究などの協議を行う社会教育委員の委員長を務めた経験を持つ。



今後も施策や事務事業の継続的な改善を目指す

市は、行政評価を通じて、施策や事務事業の継続的な改善を進めています。

今後も市民主体のまちづくりを進めるため、行政評価に皆さんの意見を取り入れながら、「みんなで生き生き 活力想像都市 ちとせ」に向けた取り組みを進めていきます。

お問い合わせ

企画部企画課行政評価係

☎ (24) 0442

具体的な評価内容は、市役所 2 階市政情報コーナー、各支所、千歳駅市民サービスセンター、図書館、市のホームページで公表しています